

「大学探しナビ」で
大学資料を一括請求



静岡理工科大学

配布開始 5月下旬 料金 無料

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2 入試広報推進課 TEL 0538-45-0115 (HP) https://www.sist.ac.jp/

TOPICS

静岡で学び、静岡を創る。一人ひとりと向き合う、対話型エンジニア教育。ものづくりの街「静岡」を支えるエンジニアを育てます。

大学GUIDE

理工学部、建築・都市デザイン学部、情報学部の3学部を設置しています。各学科では専門知識と隣接分野の知識を連携し、エアモビリティ、半導体、医工連携、製薬、化粧、環境、防災といった先端融合研究に取り組みます。さらに、地域社会のニーズに応えつつ、アントレプレナーシップ（起業家精神）教育で新たな価値を創造する力を育成。学生一人ひとりが未来を切り拓く人材へと成長します。

理工学部 理工学科

機械・自動車・航空・AIロボット系：ロボット、自動車、航空機分野に携わるための知識と技術を学びます。
電気電子情報系：情報技術、半導体、センサー、自動制御などの未来社会のキーテクノロジーを学びます。



sistグループ静岡駅前キャンパス

2024年4月静岡駅前に静岡理工科大学グループの「複合型新キャンパス」が誕生し、この新しい学びの場に4つの情報学部サテライト研究室を開設しました。
人と情報が行き交う静岡駅前に拡大する研究の場は新たなビジネスや地域の活動へと繋がっていきます。
※情報学部の一部の授業をこのキャンパスで始めています。

■学部・学科組織(2027年度予定)

- 理工学部
 - 理工学科(機械・自動車・航空・AIロボット系、電気電子情報系、化学・バイオ系)
- 建築・都市デザイン学部
 - 建築・都市デザイン学科(建築学系、都市デザイン学系)
- 情報学部
 - 情報学科(コンピュータコース、クリエイションコース、人間情報学コース、社会情報学コース)

化学・バイオ系：化学をベースに新素材、バイオ・微生物技術の産業への活用を学びます。

建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科
建築学系・都市デザイン学系

・入学後に選べる専門分野。さらに関連する分野も同時に学ぶことができる

「建築学系」「都市デザイン学系」どちらに所属しても、1年次は共通で理工系基礎を学びます。2年次から徐々に学系の専門知識を学び、3年次に発展科目、4年次に卒業研究と段階的に学びます。特に1年次はそれぞれの学系について詳しく学ぶ機会を設けて理解を深め、2年進級時には学系の変更申請も可能とする予定です。

・異なる専門分野の学生と一緒に学ぶ
融合教育プロジェクト「防災・環境エンジニアリング」(仮称)は、建築学系、都市デザイン学系どちらの学生も学べます。分野融合型テーマに対して、自分とは異なる分野の学生と一緒に、課題解決策を探索していきます。

情報学部 情報学科
コンピュータコース：人工知能、ネットワーク、情報技術を学びます。

クリエイションコース：データサイエンス、VRなどの先進的な分野を学びます。

人間情報学コース：心理、運動、感性など「人と情報技術」を学びます。

社会情報学コース：情報技術を社会・経営に応用する資質・能力を学びます。

※学部・学科名称やカリキュラム等は変更する場合があります。

一人ひとりを大切にする大学の文化



静岡理工科大学は、学生一人ひとりの「なりたい姿」を形にするため、一学年420人という少人数体制を選択しています。約80人の専任教員が学生をサポートし、「助言教員制度」を通じて顔と名前、将来の希望までを把握する「膝を突き合わせた対話型教育」を徹底。入学直後の履修計画から将来の進路相談まで、いつでも対話ができる環境があります。

この「学生を大切にできる文化」は、静岡での学びを支える充実した支援制度にも表れています。

学びに集中するための経済的支援

- ・独自の給付奨学生制度：入試成績優秀者に年間50万円～100万円を給付。
- ・住宅補助制度：県外や遠方の学生を対象にアパート代の一部をサポート。
- ・スクールバス無料：最寄駅から約6分、通学の負担を軽減。

静岡理工科大学を第一志望とする方への特別サポート

- ・総合型選抜(前期)合格者限定：さらなる給付奨学生への挑戦権を付与。
- ・女子学生支援：総合型選抜(前期)合格の女子生徒は入学金を免除。

面倒見が良い大学	北陸・東海	8位
	全国工科大学	13位
就職に力を入れている大学	北陸・東海	14位
	全国工科大学	20位

(大学通信「大学探しランキングブック2026」)

実践技術が身につく研究環境

先進機能を備えた研究施設・設備は時間や予約の制限がほとんどなく「自由に使える」というのが特長です。約30台の高性能分析・測定装置を集中管理し、プロジェクト研究や卒業研究などに利用される「先端機器分析センター」、未来の移動体やエネルギーの研究拠点「やら

資料請求方法：巻末ページの「パンフレット一括請求」をご覧ください。



まいか創造工学センター」など理・工学研究の最新設備を完備。建築学系には、大規模なコンクリート材料の強度実験が可能な「構造実験棟」、建築環境分野の実験を可能にする「環境実験棟」が備わっており、都市デザイン学系には「水理実験」、「地盤工学実験」等が可能な土木工学実験棟を新設。機器操作のレクチャーも受けられるなど、支援体制の充実も実践技術の修得、研究のスピードUPに繋がっています。

「研究力」は「就職」につながる

教育・研究活動で身につけた学生たちの実力は、高い就職実績に表れています。研究を通して得た「専門力」と「人間力」は、社会でも必要とされる力なのです。

卒業生の約65%が、毎年、静岡に本社もしくは事業所のある企業や団体に就職しています。

主な就職先(2025年3月卒業生)

アイエイアイ、アイシン、東急建設、須山建設、ASTI、ヤマハモーターソリューション、NTN磐田製作所、エンシェユ、遠州鉄道、大和ハウス工業、ダイダン、静銀ITソリューション、鈴与システムテクノロジー、ジヤトコ、シンフォニアテクノロジー、スズキ、きんでん、JR東海、竹中工務店、浜松磐田信用金庫、浜松ホトニクス、文化シャッター、矢崎総業、TOKAIグループ、FDK、NECプラットフォームズ、静岡県庁、デジタル庁、御前崎市役所 他

進学先(2025年3月卒業生)

静岡大学大学院、電気通信大学大学院、静岡理工科大学大学院

大学院の学費が安く、進学率が高い

毎年、卒業生の約13%が大学院へ進学し、研究職や開発職を目指してさらなる研鑽を積んでいます。

静岡理工科大学大学院の学費は年間60万円と、学部学費の半分以下に設定。圧倒的な低学費で高度な学びへの挑戦をサポートします。さらに、大学院独自の給付奨学生制度(年間50万円給付)を活用すれば、実質「年間10万円」の学費で進学が可能。静岡の産業をリードする、高度な技術者への道を力強く後押しします。